



平成19年3月15日

各位

会社名 株式会社 飯田産業
代表者名 代表取締役社長 兼井 雅史
(コード番号 8880 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 財務部長
石丸 郁子
(TEL. 0422-36-8848)

業績予想の修正について

当社は、最近の業績の動向等を踏まえて、平成18年12月14日付の「平成19年4月期中間決算短信(連結)」記載の連結業績予想および「平成19年4月期個別中間財務諸表の概要」記載の単独業績予想を次のとおり修正いたします。

記

1. 平成19年4月期連結業績予想数値の修正

通 期 (平成18年5月1日~平成19年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成18年12月14日発表)	134,017	12,051	6,385
今回修正予想 (B)	122,000	8,700	5,040
増減額 (B-A)	△12,017	△3,351	△1,345
増減率 (%)	△9.0%	△27.8%	△21.1%
前期実績 (平成18年4月期)	108,519	7,414	4,075

2. 平成19年4月期単独業績予想数値の修正

通 期 (平成18年5月1日~平成19年4月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成18年12月14日発表)	126,500	11,700	6,542
今回修正予想 (B)	116,000	8,600	5,050
増減額 (B-A)	△10,500	△3,100	△1,492
増減率 (%)	△8.3%	△26.5%	△22.8%
前期実績 (平成18年4月期)	104,737	7,842	4,434

3. 修正の理由

当期第3四半期以降の経済環境は、全体としておおむね成長基調にあり、不動産業界におきましても、同様に推移するものとの予測もありましたが、当社グループの主要な事業である土地付分譲住宅においては、木材・石油などの原材料の原価が上昇する傾向にありながらも、当社としては企業努力によりコストアップを抑えるべく勤めるとともに、販売組織の見直し・営業社員の育成や販売ルートの開拓など販売体制の強化など積極的に進めてまいりましたが、一層の競争の激化が続いていることにより、土地の仕入価格の上昇分を一部において販売価格に転嫁できない状況でした。

この競争激化は、売上高のみならず、特に利益を大きく圧迫する要因となったことから、現時点の利益予想の乖離は開示基準には該当いたしません。このたび業績予想を修正することといたしました。

*業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報および将来の業績に与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上